

ウォッチ 操作ガイド 5739

CASIO®

目次

安全上のご注意

本機について

- 各部の名称
- 文字板の表示
- リゅうずを使う
- 日付の動き方について
- 充電する

時刻を合わせる

- 標準電波で時刻を合わせる
 - 概要
 - 受信に適した場所
 - 標準電波の受信範囲
 - 自動で標準電波を受信する
 - 自動受信のオン/オフ設定
 - 手動で標準電波を受信する
 - 受信のご注意
- 時計を操作して時刻を合わせる
- 前回の時刻合わせ結果を確認する

針や日付の補正

- 針や日付の位置を補正する

仕様一覧

補足

- 都市一覧
- サマータイム期間一覧

困ったときは

注意事項

- ご使用上の注意
- お手入れについて
- 本製品で使用している電池について
- 金属バンドの駒詰めについて

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	危険	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
	警告	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	注意	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

記号は「してはいけないこと」を意味しています (左の例は分解禁止)。



記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



記号は「しなければならないこと」を意味しています。

危険

●二次電池について



本機から二次電池を取り出さない。発熱、破裂、発火の恐れがあります。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。



二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照) またはお買い上げの販売店に依頼する。

指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ったりすると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。

警告

●スクーバダイビングに使用しない



本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

●分解・改造しない



分解禁止

本機を分解・改造しない。

けがの原因となります。

注意

●お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

●かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



ときどき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

●ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

本機について

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

本製品の特長

●ソーラー充電

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら動きます。

●電波受信

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

●ワールドタイム

世界 24 タイムゾーンの時刻を表示できます。

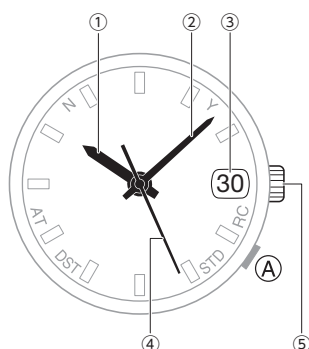
●秒針の位置を自動的に補正します

万一、強い磁気や衝撃を受けて秒針の表示位置がずれた場合、位置のずれを自動的に補正します。

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

各部の名称



① 時針

② 分針

③ 日付

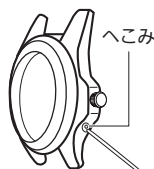
④ 秒針

⑤ リゅうず

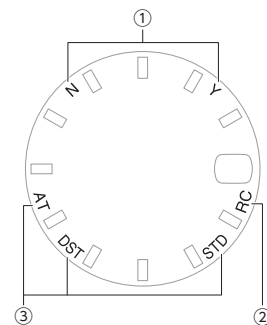
A ボタン

時刻の表示中に押すと、秒針が前回の受信結果を示します。

- A ボタンは誤動作を防ぐために、指で簡単に押せない構造になっています。先が細いものなどを使用して、ボタンのへこみ部分を押し操作してください。
- 本書ではわかりやすいよう A ボタンを目立たせて表示しています。



文字板の表示



① 前回の受信結果/自動時刻修正の設定

秒針が前回の受信結果を示します。

[Y(YES)] : 自動時刻修正に成功

[N(NO)] : 自動時刻修正に失敗

秒針が自動時刻修正の有効/無効を示します。

[Y(YES)] : 自動時刻修正が有効

[N(NO)] : 自動時刻修正が無効

② [RC]

標準電波を受信中に秒針が示します。

③ サマータイムの設定

サマータイムの設定を秒針が示します。

[AT (AUTO)] : DST/STD 自動切り替え

[DST] : サマータイム

[STD] : スタンダードタイム

リゅうずを使う

●引く/戻す

リゅうずを操作するときは、イラストのように1段または2段引いてから回してください。無理に引っ張らないでください。

1 段引く

都市の設定など



2 段引く

時刻と日付設定など



重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら必ずリゅうずを戻してください。
- リゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

●早送り/早戻しする

リゅうずを2段引いた状態で素早く繰り返し回すと早送りまたは早戻しができます。時計を操作して手動で時刻を合わせているとき、早送り中に再度リゅうずを素早く繰り返し回すと、時針と分針の動きが速くなります。

参考

- リゅうずを1段引いた状態から戻すと、秒針が充電必要度の目安を約1秒間表示します。

●早送り/早戻しを解除する

リゅうずを逆方向に回す、またはAボタンを押します。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- 早送り/早戻しは、時刻修正、針のずれ補正で使うことができます。

日付の動き方について

- この時計は、秒針と分針が連動しています。分針を合わせるときは、秒針が繰り返し回転します。
- この時計は、時針と日付が連動しています。日付を合わせるときは、時針を繰り返し回して合わせます。

充電する

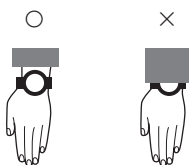
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



重要

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になり、火傷を負ったり、時計内部の部品が破損する原因となります。以下のような60°C以上になる可能性がある場所での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯、撮影用ライト、ハロゲンランプなどの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり高温になる所

●充電不足や充電切れ

針の動きで、充電量が不足しているかどうかわかります。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

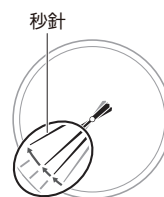
重要

- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

充電低下のとき

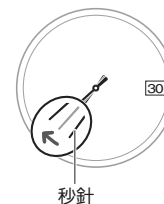
秒針が次のように不規則に動きます。

1秒で動く → 1秒で動く → 2秒で動く



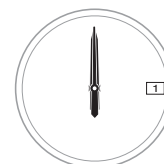
充電不足のとき

秒針が2秒ごとに動きます。



充電切れのとき

すべての針と日付が停止します。

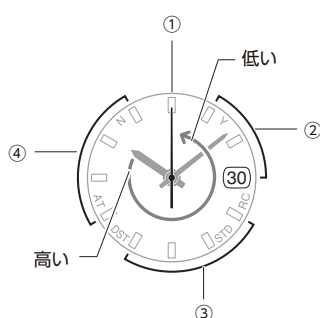


●充電必要度の目安表示

リゅうずを1段引き、秒針がホーム都市を指したら、リゅうずを戻します。

- 秒針が充電必要度の目安を約1秒間表示します。
- 他の操作中でも、リゅうずを1段引いた状態から戻したときに表示します。
- 光が当たらない状態が続くと、「充電必要度」が高くなります。
- ご使用状態によっては、「充電必要度」が低くても、充電不足となることがあります。その場合はすぐに充電してください。

充電必要度



- ① 十分に充電されています。
- ② 充電を心掛けてください。
- ③ 光にもっと当ててください。
- ④ 明るい光に長時間当ててください。

●充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1 日、使用するために必要な充電時間

光量 (ルクス)	充電時間
50,000	8 分
10,000	30 分
5,000	48 分
500	8 時間

充電量の回復に必要な時間

- 晴れた日の屋外など (50,000 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	2 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	19 時間
充電量: 高 → 満充電	6 時間

- 晴れた日の窓際など (10,000 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	4 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	69 時間
充電量: 高 → 満充電	22 時間

- 曇りの日の窓際など (5,000 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	6 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	112 時間
充電量: 高 → 満充電	36 時間

- 蛍光灯下の室内など (500 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	60 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	—
充電量: 高 → 満充電	—

参考

- 実際の充電時間は、環境や時計の設定などによって異なります。

●節電 (パワーセービング機能)

パワーセービング機能とは、時計を暗い場所に置いておくと自動的に節電状態になる仕組みです。

暗い場所に置いてから約1週間経過すると、すべての針が12時位置で停止します。

参考

- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。

●節電状態を解除する

A ボタンを押す、リゅうずを操作する、または時計を明るい場所に置くと、節電状態は解除されます。

時刻を合わせる

この時計は、電波を受信して日付や時刻を合わせることができます。



重要

- 飛行機内など電波の受信を禁止または制限されている場所では、自動時刻修正を無効にしてください。
🕒 時計を操作して設定する場合

標準電波で時刻を合わせる

概要

標準電波を受信すると、時計の時刻や日付を合わせることができます。

重要

- 電波を受信して正しい時刻を表示するには、ホーム都市のタイムゾーンを使用する地域に設定する必要があります。
🕒 ホーム都市を設定する
- 飛行機内など電波の受信を禁止または制限されている場所では、自動時刻修正を無効にしてください。
🕒 時計を操作して設定する場合

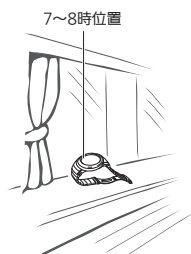
参考

- 標準電波は、受信できる地域が限られています。標準電波を受信できない地域で使う場合は、手動で時刻を合わせてください。
🕒 時計を操作して時刻を合わせる
- 標準電波を受信しても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付の位置を補正してください。
🕒 時計を操作して補正する場合

受信に適した場所

窓際で電波を受信できます。

- 時計の 7～8 時位置を窓に向けて置いてください。
- 金属は避けてください。
- 時計を動かさないでください。
- 時計を操作しないでください。



参考

- 以下の場所では、標準電波を受信しにくくなります。
 - ビルの中およびその周辺
 - 乗り物の中
 - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
 - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
 - 高圧線の近く
 - 山間部、山の裏側

標準電波の受信範囲

●日本 (JJY)

日本の標準電波送信所は、福島県のおたかどや山と福岡県/佐賀県のはがね山に位置します。
標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,000km 以内です。

●中国 (BPC)

中国の標準電波送信所は、中国河南省の商丘市に位置します。
標準電波の受信範囲は、商丘送信所を中心として約 1,500km 以内です。

●アメリカ (WWVB)

アメリカの標準電波送信所は、コロラド州フォートコリンズに位置します。
標準電波の受信範囲は、フォートコリンズ送信所を中心として約 3,000km 以内です。

●イギリス (MSF)/ドイツ (DCF77)

イギリスの標準電波送信所は、カンブリア州アンソーンに位置します。
ドイツの標準電波送信所は、フランクフルト南東のメインフリンゲンに位置します。
標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,500km 以内です。

参考

- 標準電波の受信範囲内でも地形、天候、時期(季節)、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。

自動で標準電波を受信する

午前 12 時(深夜 12 時)から午前 5 時の間に標準電波を受信して、自動で時刻や日付を合わせます。1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

- 窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。
 - 標準電波を受信中は、秒針が [RC] を示します。
 - 受信に成功すると、自動的に時計の時刻と日付が合います。

参考

- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。

自動受信のオン/オフ設定

自動受信の設定をオフにして自動受信機能を停止させることができます。

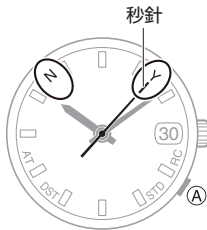
参考

- 電波の受信に対応している都市をホーム都市に設定している場合は、自動受信のオン/オフ設定ができます。

📍 標準電波の受信範囲

1. A ボタンを押します。

秒針が前回の受信結果を 9~10 秒間示します。



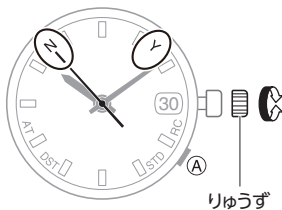
2. 手順 1 から 10 秒以内にリゅうずを 1 段引きます。

- 手順 1 の操作から 10 秒以上経過したためリゅうずを引く前に秒針が通常の秒運針に戻った場合は、手順 1 からやり直してください。

3. リゅうずを回して自動時刻修正を無効にします。

[Y(YES)] : 自動時刻修正が有効

[N(NO)] : 自動時刻修正が無効



4. リゅうずを戻します。

手で標準電波を受信する

1. 窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。

2. 秒針が[RC]の位置を示すまで 2 秒以上、A ボタンを押し続けます。

標準電波の受信が始まります。標準電波を受信すると、時計の時刻と日付が合います。



参考

- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。
- 受信を中止したいときは、A ボタンを押します。
- 受信に失敗した場合は、周辺の受信環境を確認の上、再度受信操作を行ってください。
- 📍 受信に適した場所
- 昼間よりも夜間のほうが標準電波を受信しやすくなります。

受信のご注意

- 電波の受信による時刻合わせができないときは、平均月差±15 秒の精度で動きます。
- 電波を受信して時刻合わせをするときに、時計内部の演算処理などにより若干(1 秒未満)のずれが発生します。
- 時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。
 - 充電不足のとき
 - 節電状態のとき
 - リゅうずを引いているとき
 - 電波受信に対応していないタイムゾーンをホーム都市の地域に設定しているとき
 - 電波の受信範囲外でお使いのとき
- 受信に成功すると、自動的に時計の時刻や日付が合います。ただし、以下のような場合は、サマータイムが正しく反映されません。
 - サマータイム開始日時、終了日時の規定が変わった

時計を操作して時刻を合わせる

電波の受信による時刻合わせができないときは、時計を操作して日付、時刻、ホーム都市を合わせます。

● ホーム都市を設定する

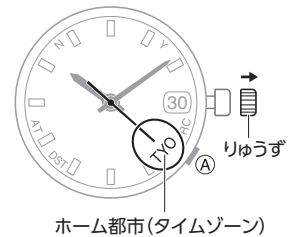
この時計を使用する都市(タイムゾーン)を設定します。

重要

- お使いの地域の都市(タイムゾーン)に設定していないと、標準電波を受信したときに、時計が正しい時刻を表示しません。

1. リゅうずを 1 段引きます。

秒針が現在設定しているホーム都市を示します。



ホーム都市(タイムゾーン)

2. リゅうずを回して、ホーム都市を変更します。

- 文字板に都市名が表示されていないタイムゾーンに設定することもできます。
- タイムゾーンについては、以下をご覧ください。

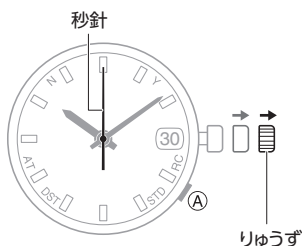
📍 都市一覧

3. リゅうずを戻します。

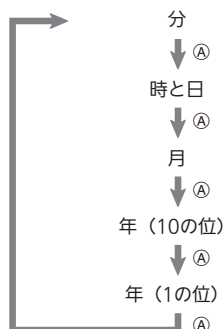
●時刻や日付を設定する

1. リゅうずを2段引きます。

秒針が12時位置に移動します。



- 合わせる項目は、A ボタンを押すごとに、以下の順で切り替わります。



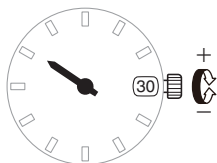
2. リゅうずを回して「分」を合わせます。

3. A ボタンを押します。

時針が小さく動き、「時」と「日」を設定できる状態になります。

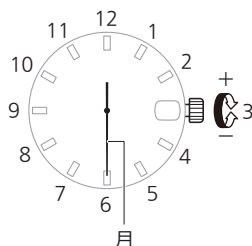
4. リゅうずを回して「時」と「日」を合わせます。

- 日付を合わせるには、時針を繰り返し回して合わせます。
- 日付は午後10時～午前2時にかけて少しずつ変わります(午前12時は日付が中央に表示されていません)。
- 午前と午後は、日付の切り替わりを参考に、合わせてください。



5. A ボタンを押します。

「月」を設定できる状態になります。

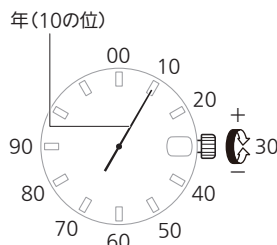


6. リゅうずを回して「月」を合わせます。

7. A ボタンを押します。

「年(10の位)」を設定できる状態になります。

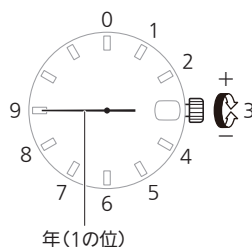
- 年は西暦の下二桁(20XX)で指定してください。



8. リゅうずを回して秒針を「年(10の位)」に合わせます。

9. A ボタンを押します。

「年(1の位)」を設定できる状態になります。



10. リゅうずを回して秒針を「年(1の位)」に合わせます。

11. 時報に合わせてリゅうずを戻します。

●サマータイムを設定する

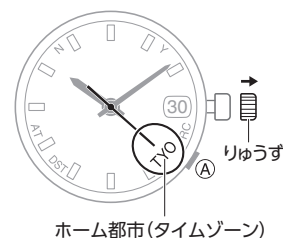
サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定します。

参考

- 各都市のサマータイムの初期設定(工場出荷時の状態)は[AT (AUTO)]です。多くの場合、[AT (AUTO)]であれば、設定を変更する必要はありません。
- 手動で文字板に都市名が表示されていないタイムゾーンに設定した場合は、サマータイムの設定を[STD]または[DST]に切り替えてお使いください。

1. リゅうずを1段引きます。

秒針が現在設定しているホーム都市を示します。



2. A ボタンを押します。

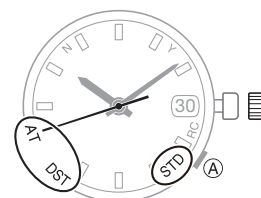
秒針が現在のサマータイムの設定を示します。

- [AT (AUTO)]
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
🔗 [サマータイム期間一覧](#)
- [STD]
常にスタンダードタイムで表示します。
- [DST]
常にサマータイムで表示します。
- 約3秒経過すると、秒針は都市コードに戻ります。

3. A ボタンを約1秒間押し続けます。

A ボタンを約1秒間押し続けるたびに、以下の順で設定が切り替わります。

[AT (AUTO)] → [STD] → [DST]



4. リゅうずを戻します。

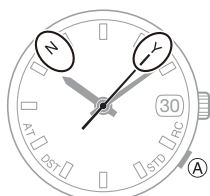
前回の時刻合わせ結果を確認する

1. A ボタンを押します。

秒針が前回の受信結果を示します。何も操作をしないまま 9～10 秒経過すると現在時刻に戻ります。

[Y(YES)] : 前回の時刻合わせが成功

[N(NO)] : 前回の時刻合わせが失敗



参考

- 標準電波を受信して時刻を合わせていても、その後手動で時刻や日付を変更した場合は、秒針が[N(NO)]を示します。

針や日付の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の位置が合っていないことがあります。そのようなときは、針や日付の位置を補正します。

- 秒針は、自動で補正されます。

下記の場合は、次の操作で補正してください。

- 秒針が自動で補正されない場合
- 時針、分針、日付がずれた場合

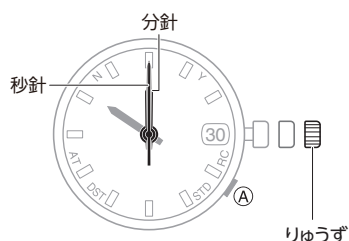
針や日付の位置を補正する

1. リゅうずを 2 段引きます。

2. A ボタンを、5 秒以上押し続けると、秒針と分針が 12 時位置に移動します。

3. 秒針と分針が 12 時位置で停止しないときは、リゅうずを回して 12 時位置に合わせます。

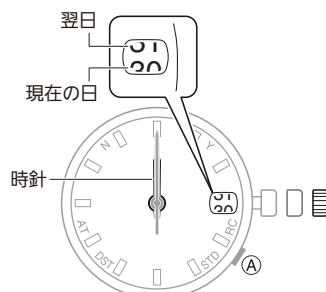
- 分針を合わせるときは、秒針を早送り／早戻しして合わせます。



4. A ボタンを押します。

時針が 12 時位置で停止し、日付が現在の日と翌日の間で停止することを確認します。

- 時針のずれが 3 時間以内のときは、手順 5 に進んでください。
- 時針のずれが 3 時間を超えているときや日付がずれているときは、手順 6 に進んでください。

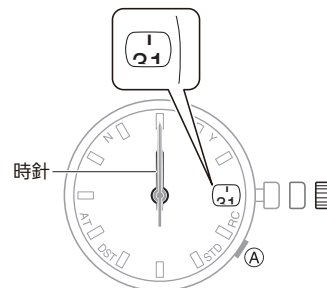


5. リゅうずを回して時針を 12 時位置に合わせます。

- 時針の位置合わせができたら手順 8 に進んでください。

6. A ボタンを 2 秒以上押し続けます。

時針が 12 時位置(基準位置)で停止し、日付が[31]と[1]の間(基準位置)で停止することを確認します。



7. 時針と日付が基準位置になっていないときは、リゅうずを回して基準位置に合わせます。

- 日付を合わせるときは、時針を早送り／早戻しして合わせます。

8. リゅうずを戻します。

上記の操作後は、時刻と日付を合わせてください。

- 日本国内など電波を受信できる場所でご使用の場合

☞ 自動的に時刻を合わせる

- 電波を受信できない場所でご使用の場合

☞ 手動で時刻を合わせる

参考

- リゅうずを引いた状態で約 30 分間何も操作しないと、操作が効かなくなります。リゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。リゅうずを戻すと、それまでに補正した針は、補正された状態になります。

仕様一覧

精度：

電波受信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒

基本機能：

時・分・秒、日付(2000～2099年までのフルオートカレンダー)

電波受信機能：

自動受信・手動受信

受信局自動選択機能(JJY、MSF/DCF77で対応)

受信電波 コールサイン

JJY(40kHz/60kHz)、BPC(68.5kHz)、WWVB(60kHz)、MSF(60kHz)、DCF77(77.5kHz)

スタンダードタイム/サマータイムの自動/手動切り替え

自動時刻修正の有効/無効切り替え

ワールドタイム機能：

世界24都市の時刻を表示

サマータイム自動設定機能

その他：

秒針位置自動補正機能、パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能

使用電池：

二次電池 CTL621

公称電圧 2.3V

持続時間：

約5か月

(光に当てないで、1日あたり電波受信1回(約3分)使用)

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市一覧

都市コード	都市名	タイムゾーン
LON	ロンドン	0
PAR	パリ	+1
ATH	アテネ	+2
JED	ジェッダ	+3
DXB	ドバイ	+4
KHI	カラチ	+5
DAC	ダッカ	+6
BKK	バンコク	+7
HKG	香港	+8
TYO	東京	+9
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌーメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレジ	-9
LAX	ロサンゼルス	-8
DEN	デンバー	-7
CHI	シカゴ	-6
NYC	ニューヨーク	-5
SCL	サンティアゴ	-4
RIO	リオデジャネイロ	-3
FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ	-2
RAI	プライア	-1

サマータイム期間一覧

サマータイムを導入している都市でサマータイムの設定を[AT(AUTO)]にすると、以下のタイミングで時刻が切り替わります。

参考

- サマータイムの開始、終了タイミングが変更になるなどで下表と異なる場合は、手動で[STD]または[DST]に切り替えてください。

都市名	サマータイム開始	サマータイム終了
ロンドン	3月最終日曜1時	10月最終日曜2時
パリ	3月最終日曜2時	10月最終日曜3時
アテネ	3月最終日曜3時	10月最終日曜4時
シドニー	10月第1日曜2時	4月第1日曜3時
ウェリントン	9月最終日曜2時	4月第1日曜3時
アンカレジ	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
ロサンゼルス	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
デンバー	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
シカゴ	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
ニューヨーク	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
サンティアゴ*1	10月第2土曜24時	3月第2土曜24時
リオデジャネイロ*2	10月第3日曜0時	2月第3日曜0時または2月第4日曜0時

*1

2024年7月現在、サンティアゴのサマータイムの開始は9月第1土曜24時に、終了は4月第1土曜24時に変更されていますが、本機では対応していません。

*2

2024年7月現在、リオデジャネイロのサマータイムは廃止されていますが、本機では対応していません。

困ったときは

電波受信 (標準電波)

Q1 電波を受信できない

時計は充電されていますか？

充電不足の場合は、電波を受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

自動時刻修正は有効になっていますか？

自動時刻修正を無効にしていると、電波を受信できません。自動時刻修正を有効にしてください。

☞ 時計を操作して設定する場合

ホーム都市は正しく設定されていますか？

ホーム都市が間違っていると、正しい時刻を表示しません。ホーム都市を正しく設定してください。

☞ ホーム都市を設定する

それでも電波を受信できない

時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。

- 節電状態のとき
- リューズを引いているとき

受信に成功しないときは、時刻や日付を手動で合わせてください。

Q2 電波の受信が成功しない

受信に適した場所ですか？

周辺の環境を確認し、電波を受信しやすい所で受信してください。

☞ 受信に適した場所

受信中は時計に触れるのを控えていますか？

受信中はできるだけ時計を動かしたり、操作したりしないでください。

送信所から電波が送信されていますか？

送信所から標準電波が送信されていない可能性があります。

独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) 日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。

Q3 受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない

タイムゾーンをお使いの地域に設定していますか？

タイムゾーンをお使いの地域に設定してください。

☞ ホーム都市を設定する

針や日付の位置は合っていますか？

針や日付の位置を補正してください。

☞ 針や日付の補正

それでも日時が合わない

時刻や日付を手動で合わせてください。

☞ 時計を操作して時刻を合わせる

針の動きと表示

Q1 秒針が不規則に動いている

充電量が低下しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

Q2 秒針が2秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

Q3 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

Q4 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。
☞ 節電 (パワーセービング機能)
- 標準電波を受信して、時刻合わせをしている。
☞ 標準電波で時刻を合わせる

Q5 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで (約 15 分間) お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q6 現在時刻の表示が9時間、3時間30分など区切りのよい時間でずれている

都市の設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ ホーム都市を設定する

Q7 現在時刻の表示が1時間や30分など区切りのよい時間でずれている

サマータイム設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ サマータイムを設定する

Q8 針や日付の位置が合っていない

強い磁気や衝撃の影響で針や日付の位置が合っていないことがあります。針や日付の位置を補正してください。

☞ 針や日付の補正

リ्यूズの操作

Q1 リ्यूズを回しても何も操作できない

リ्यूズを引いたまま 2 分以上 (針や日付の位置を補正している場合は約 30 分間) 何も操作しないと、操作が効かなくなります。リ्यूズをいったん戻した後、再度引いてください。
 [リ्यूズを使う](#)

その他

Q1 「困ったときは」には知りたい情報がない

以下のウェブサイトをご確認ください。
<https://casio.jp/support/wat/>

注意事項

ご使用上の注意

●防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

日常生活用防水

時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し
----------------	-----------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	×
ウインドサーフィン	×
スキndaイビング(素潜り)	×

日常生活用強化防水

5 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	5BAR
----------------	------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	×
スキndaイビング(素潜り)	×

10 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	10BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキndaイビング(素潜り)	○

20 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	20BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキndaイビング(素潜り)	○

- 専門的な潜水=スクーバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。

- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
 - 防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」リゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
 - 夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
 - なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

●ショック

- 通常の使用状態でショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

●磁気

- アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

●静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

●薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

●保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

●樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

●皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

ご注意:

皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

●金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

●抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

●お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- リゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、リゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押したりしてください。

●お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
－ 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド*を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)へお問い合わせください。

* 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)

